



# 広島女学院報



## 『自由を得るために召し出された』

(ガラテヤの信徒への手紙5章13節)

中学高等学校校長 星野晴夫

「真理はあなたがたを自由にする」。この言葉は新約聖書ヨハネの福音書にあり、イエスが自分に従ってきたユダヤ人達に語ったものです。ところがこれに対して彼らは「私たちは誰の奴隷になった事もない」と激しく反発し議論となります。奴隷制度が存在していた社会の中では「自由にする」とは即、彼らが現在奴隷の状態にある事を指していたのです。自由人である誇りを持つ人々にとって、この言葉はひどい侮辱と感じた事でしょう。しかし、イエスは、自由人である自負を持つ人々に対して問題提起をしたのです。

自由であるつもりの人間が、頭では分かっている筈の正しい生き方が内なる肉欲に屈していたり、人との比較の中で自分らしい生き方を保てなかったり、憎しみや嫉妬のために他者を受け入れられない苦しみを感じたりなど、実は私たちは内的には数々のものに束縛され、不自由な奴隷状態にあるのではないのでしょうか。

最近のテレビニュースの中で、スマートフォンやアイフォンをやめて、あえて携帯電話に戻っていく人が出てきている、と伝えていました。高機能で便利になりすぎたこれらの機器に頼る余り、手放せなくなる自分に恐さを感じた人々です。これは一方で機器依存の奴隷状態になる人が、若い世代も含めて今いかに多いかを示しているのです。

この度、本高校43回生の堀越ゆきさんが「ある奴隷少女に起こった出来事」(H・アン・ジェイコブス著 大和書房)という本を翻訳出版され、有名週刊誌等でも書評が出るなど大きな反響を呼んでいます。約百年前のアメリカに実在した女性黒人奴隷アン・ジェイコブスが自由を勝ち取るまでの壮絶な自分史で、堀越さん自身はこの本への深い共感から翻訳を志し、私も贈呈を受けて感動を持って読みました。奴隷という人生の苦しみは、単に厳しい労働や冷酷な待遇にあるのではなく、逆に優しい主人や良い労働条件に恵まれたとしても、人生の主導権と自由を他人に握られていることの苦しみであって、現代に生きる私たちにも大いにあてはまります。原発の事故処理の混乱や、便利なはずのネットを原因とする人間関係のもつれ等による犯罪の増加(特に若年女子に被害者が増加)等、人類が手にした文明を持って余り傷つく姿は、イエスが「罪を犯す者は、罪の奴隷である」と語ったように、我々が本当の意味での自由を手にしていないことを示しています。

しかし、聖書にあるようにイエスは自らをあえて罪の束縛の中に置いて人の苦しみを負い、その魂の束縛を解き、信じる者の心に自由を与えました。女学院に関わりその建学の精神に養われる者が、内的外的に存在する束縛の現実と向き合いつつも、真に自由な精神を持って歩むよう神に召されているという、望みと使命をもって歩む者でありたいと思います。



8月6日 平和祈念礼拝 中学茶道部による献茶

# 「Show Your Respect」—2013年度 春季宗教強調週間(5月13日(月)～16日(木))報告—

5/13・特別チャペル(日)  
本語日本文学科4年生の演  
中志織さんによるフィリピン・ワークキャンプ報告)  
は、ぜひ今秋発行のチャペ  
ル日より第179号の記事  
をご一読、感動を共有して  
いただきたい。

14・15日両日には、この  
春まで北陸学院中高を校長  
として牽引してこられた堀  
岡啓信先生をお招きした。  
中でも印象に残ったのは、

建学の精神に本気で敬意を  
払うことにこそ我々の一致  
があり、力がある、という  
メッセージであった。また、  
広島女学院はじめ、キリス  
ト教主義学校は、他の学校  
では教えない、人生が始ま  
る前のことと、終わったあ  
とのことをも教える学校で  
ある、との指摘には、ハッと  
させられた。資格取得や就  
職はもとより極めて大切な  
関心事であるうが、「良い

人生を生きる」ということ  
は、もっと長いライフスバ  
ンにかかわる、いや、それ  
だけでなく人生の前と後に  
さえ関係することなのだ。  
16日・木曜日チャペルの篠  
原收教授の、ご自身の歩み  
を振り返ってのご講話に、  
その想いをいよいよ深くし  
た。なお、恒例の献血はこ  
れまでで最高の118名も  
の参加があった。感謝！  
(チャプレン 澤村 雅史)

## 第47回原爆講座

### 「8・6の意味するもの」

7月2日(火)の「キリス  
ト教の時間」では、日本  
キリスト教団牧師の木村  
弘美先生をお迎えし、被爆  
証言を伺った。被爆当時小  
学校1年生であられた先生  
が体験された、原爆の惨状  
と、聖書(エフェソの信徒  
への手紙2章14～18節)に  
あるキリストに象徴される  
平和について語られた。翌  
週は、広島平記念公園の「原  
爆の子の像」のモデルであ  
る、佐々木禎子さんの甥  
に当たられるシンガーソ  
ングライターでSADAKO  
LEGACY副代表理事の

佐々木祐滋さんをお迎え  
し、ピースコンサートを開  
催した。禎子さんの思いを  
作詞、作曲された  
「INORII」を歌われた。  
また、禎子さんの遺品であ  
る千羽鶴が沖繩に寄贈され

ることを紹介された。「木  
曜日チャペル」では、今年  
3月に長崎を訪問して平和  
学習を行った4名の学生が  
活動報告を行った。  
(宗教部事務課長 小田長)



## 管理栄養士国家試験合格率 94.0%

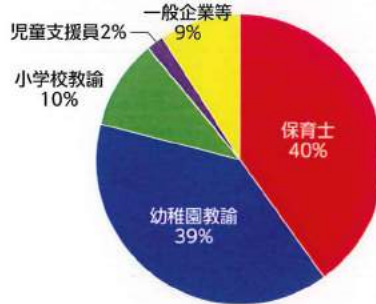
昨年度の管理栄養士国家  
試験は、本学学生67名が受  
験し63名が合格、合格率は  
94.0%でした(全国の新  
卒管理栄養士養成課程合  
格率平均は82.7%)。本  
学は2010年度より4年  
連続で合格率94%以上を確  
保し、高い合格率を維持し  
ています。

さて、現代の学生は資格  
志向が強まっています。日  
本経済が不安定な中、就職  
を考えると、資格を持つこ  
とは確かに有利です。でも  
本当に大切な事は、資格を  
誰のために、何のために使

うかです。23年間病院で働  
かせて頂き、現在教壇に立  
たせて頂いている私は自分  
に課題を負わせています。  
「食」を通して愛のある  
学生を育てる。広島女学院  
大学が大切にしてきた精神  
を受け継ぐ人間性と専門資  
格が合わさった時、初めて  
世に中のお役に立てる管理  
栄養士の資格を持った。人  
間。が育つと思っていま  
す。それが、広島女学院大  
学の管理栄養学科だと思っ  
ています。  
(管理栄養学科主任  
石長孝二郎)

## 2012年度幼児教育心理学卒業生の就職状況

幼児教育心理学科は、  
2007年に誕生し、昨年  
度第3期生87名の卒業生を  
送り出しました。そのうち  
求職者は84名で、82名が就  
職し、全体の就職率は97.  
6%でした。具体的な内訳  
は、保育士に40%、幼稚園  
教諭に39%、小学校教諭に  
10%、児童支援員に2%、  
一般企業に9%となってい  
ます。小学校教員採用試験  
は、1次試験合格者が  
100%と15名の受験者が  
全員合格し、2次試験でも  
87%(13名合格)と高い合



## 2013年度広島女学院大学公開セミナー

テーマ 伝統としての文化・文学—日仏英米を通して—  
10月5日(土)

『宇治拾遺物語』の昔話—「鬼に瘤取らるる事」と「雀報恩の事」—  
国際教養学科教授 佐藤 茂樹

10月19日(土)

守られる伝統/挑まれる伝統—アメリカ文化・文学を中心に—  
国際教養学科教授 前川 裕治

10月26日(土)

英国の召使—文学から読み解く—  
国際教養学科准教授 山内 理恵

11月2日(土)

近代フランス社会における芸術とスキャンダル—エドゥアール・  
マネの場合—

国際教養学科教授 宮本 陽子

グローバルスタディーズ&サマーセミナー2013

世界中から若者を招き、平和について考え議論をする大学のサマーセミナーは今年で三回目を迎え、前半の一週間は本学を会場とする「ピースセミナー」です。今年の特徴は、

①広島における被爆の実相を学ぶことを基調

②内外から研究者やジャーナリストを招き、多角的な視点から次世代を担う世界の若者に平和への行動を起こす動機づけをする

③参加者の出身国が多彩(アジア各国と、アフガニスタン、ボスニア、ロシア、バングラデッシュ、ヨルダン、ケニアなど一三カ国)

④「社会活動を通じた平和構築」がキーワードのプログラム構成

などが挙げられ、すべて英語での進行です。ピースセミナーへの参加者は約四〇名。そして四カ国の講師・スタッフ二〇名以上で支えます。

ピースセミナー終了後は、参加者のうち二三名が三グループ(カンボジア、タイ、フィリピン)に分かれ、現地のNPOや大学の協力を得ながら一〇日間の

フィールドワークにより視野を広げ問題意識を深めます。

本学から国際教養学部GSEメジャーの一年生を中心に一三名の学生が参加しました。フィールドワーク後は本学に戻り、各グループでディスカッションを深め、最後のプレゼンテーションに臨みます。「前日はほとんど徹夜で準備したものですごく疲れた」という学生も、プレゼンテーションを終えたその表情は充実感に満ちていました。

参加した若者たちは、初めて訪れる日本そして広島で、平和や核の問題について考察し、自分の将来や祖国の未来に対する思いとリーダーシップを強めることが期待されています。また、毎回参加者同士の触れあいの中で国境を越えた友情が育まれています。

セミナーは終了しましたが、これは参加者にとっても新たな出発でもありません。世界中に広がったネットワークを活用し、平和への行動、そして世界を少しでも変える第一歩を踏み出してほしいと思います。

(国際交流課長 宇根 治)

2013年度春季講演会報告

英米言語文化学科

演題: Language and Society: The Culture of Wordplay

講師: John Herbert 先生 (本学教授)

日時: 2013年6月5日(水) 13:00~

場所: ヒノハラホール5階アセンブリーホール

幼児教育心理学科

演題: 幼少期は人生で一番心の動く時期~保育実践の話から~

講師: 出原 大 先生 (学校法人関西学院 聖和幼稚園園長)

日時: 2013年6月29日(土) 13:30~

場所: 人文館 303AV 教室

管理栄養学科

演題: スポーツ栄養の現状

講師: 餅 美和子 先生 (園田学園女子大学准教授)

日時: 2013年6月19日(水) 15:00~

場所: 人文館 302 教室

日本語日本文学科

演題: 私の作文指導-生活綴方と

課題条件法の双方を生かして-

講師: 植西 浩一 先生 (本学准教授)

日時: 2013年4月24日(水) 15:20~

場所: 人文館 201 教室

生活デザイン・情報学科

演題: インターネットを取り巻く過去から

現代までの問題

講師: 片山 博昭 先生 (公益財団法人

放射線影響研究所情報技術部)

日時: 2013年6月26日(水) 15:00~

場所: 人文館 303AV 教室

English Entertainment 2013

2013年5月23日(木)

18:00より、砂本記念講堂にて、イギリスの劇団ITCL(The International Theatre Company London)をお招きして、「The Taming of the Shrew」を上演しました。当日募りました募金の

総額は25,555円で、

日本赤十字社を通して東日本大震災義援金として全額送金いたしました。今年も多数ご来場いただきまして、心よりお礼申し上げます。(英米言語文化学科主任 波多野 五三)

2013年度オーブンセミナー

今年度も国際教養学科から4つのセミナー、生活デザイン・建築学科から2つのセミナー、幼児教育心理学科から1つのセミナーが開講され、国際教養学科は56名、生活デザイン・建築学科は24名、幼児教育心理学科は49名の受講生があり合計129名の受講生があった。

どの生徒も真剣な表情で受講していた。県外からの受講生もいて、学内にある牛田山荘で11人が宿泊した。

2013年度オーブンキャンパス

今年度は昨年のテーマ「ACTIVE」を継続し、第1回を「Active」、第2回を「Creative」、第3回を「Tolerant」、第4回を「Intelligent」、第5回を「Voluntary, Elegant」と

テーマを全体テーマの文字から設けて開催した。全ての回で、各学科PR「映像」の上映、学生による「プレゼン」、「パフォーマンス」を組み入れた。さらに「学長カフェ」を新たに設けた。ランチ試食では、管理栄養学科の協力を得て、一日の野菜摂取量の約

一人でも多くの生徒がオーブンセミナー入試への出願へと進み、そして、入学前学習をしっかり受けたいと心から願っている。(入試課長 榎 良平)



半分を取れる「ベジフルランチボックス」を提供した。本学からの「ACTIVE」なメッセージが伝わり、志望校選択の一助となれば幸いです。(入試課長 榎 良平)



中学・高校

中1オリエンテーション合宿

女学院中学校では、入学後、これからの学校生活を有意義なものにするために中1オリエンテーション合宿を行っています。今年度の合宿は、4月25日(木)、26日(金)の一泊二日で行われました。

初日は、比治山にあるゲインズ先生の募前で礼拝をし、入学の報告をしました。その後、バスに乗ってグリーンピアせとうちへと移動。青空の下、今まで話したことのないクラスメイトと話す同級生インタビューというプログラムで、交流を深めました。夜はキャンドルサービスによる礼拝を行い、厳かな雰囲気になりました。



二日目は、短期間で練習した讚美歌をクラス対抗で歌う「プチ☆讚美歌コンクール」や、屋外運動場でクラス対抗長縄大会をしました。縄になかなか入れない人をサポートしたり、引っかかっても「ドンマイ」と声を掛けたりして、クラスの絆を深めました。

この合宿でクラスメイトのことも知ることができ、良い中学校生活のスタートを切ることができたと思います。(中1HR委員 山田 優季 山本 莉子)

中高合同文化祭のご案内

■一般公開の日時 11月3日(日) 9時45分～15時半

昨年度より1日だけの開催となりました。今年度は開場時間を15分早め、少しでも長く文化祭を楽しんで頂きたいと思っております。

文化祭では、日ごろの活動の成果や学校生活での学びの様子を多くの方々に向けて、楽しんでいただきたいと思っております。是非会場まで足を運んでいただければと思います。(高校生徒会顧問 三浦 芳子)

ポスター

1年B組 奥田 花鈴



パンフレット

1年B組 岩本 真穂



2013年度海外との交流

中高・国際教育委員会では、学校と海外との接点を増やすだけでなく、恒久平和実現のために労を惜しまない生徒の育成も視野に入れて、様々な活動をサポートしています。

今年度の受入れ留学生は韓国出身です。日本語の上達がかなり早く、留学生生活の折り返し地点の現在、日常生活はもとより、自分の意見も日本語で述べるまでに上達しています。派遣留学は現在、ブラジル、ノルウェー、アメリカにそれぞれ一名ずつが留学し、三学期からはコスタリカでの留学生生活を開始する

生徒もいます。また二学期からはドイツ、アメリカでの留学を終えた二名の生徒がそれぞれ高三と高二に復学しました。

アメリカやオーストラリアでの短期研修は、ここ数年、希望者が多く、選考を実施しなければならぬほどです。いずれの研修においても、平和や広島女学院に関するプレゼンテーションを実施し、少しでもヒロシマや日本の学校について、現地の人々に知ってもらうよい機会となっております。

今年で五回目となったハワイ・プナホウスクールのHiroshima Peace Scholarship Programにおいて、本校は広島での研修をサポートしています。今年度は八月七日にInternational Peace Exchangeを持ち、詩人のアーサー・ピナードさんをお迎えして、高校生に基調講演をして頂きました。また、ハワイのほか、韓国やカザフスタンの高校生、日本からは高知の土佐塾高校、沖縄の沖縄尚学高校、広島からは盈進、安田、武田、本校、また本校の卒業生が主宰するピース・スタディー・ツアー参加の大学生など、総勢80名近くの高校生、大学生が一堂に会し、それぞれの取り組みを

報告するプレゼンテーションやフリーディスカッションなど、実りの多い、刺激にあふれた一日となりました。

四月、アメリカのカリフォルニア州にある Monterey Institute of International Studies (モントレー国際大学院)の核不拡散センターが高校生対象の核軍縮フォーラムを開催し、本校ほか二校、計三校が招待されました。高三、高二の生徒二人が参加し、四か月におよぶ事前学習と準備を経て、現地で「平和教育」に関するプレゼンテーションを行ないました。本校の平和教育の紹介のみならず、その意義や効果について、国際情勢の大きな枠組みのなかで考えると同時に、平和教育は日々の教科教育のなかで実践すべきという提言です。参加したアメリカやロシアの高校生からも大きな反響を呼び、早速学校に呼びかけたという参加者もいました。

この活動により、広島市から「ヒロシマ子ども平和集会」において、「アオギリ賞」を受賞したり、NHKでも取り上げられるなど、期せずして様々なところで一定の評価を得ました。

(国際教育委員会 高見 知伸)



「ある奴隷少女に起こった出来事」(大和書房)

堀越ゆきさん(高校43回卒)が標記の本を出版されました。

150年前、実際に奴隷であったハリエット・アン・ジェイコブズの手記を邦訳されました。

奴隷という境遇の中、自由を求めての苦闘が生々しく描かれています。また後書きでは、現代の少女たちにも思いをはせ、真の自由とは何かを問いかけています。



### 夏期海外生活 体験学習

7月24日から8月9日まで、中3生徒20名は、オーストラリア・メルボルン郊外のキルビントンスクールでの英語研修に参加しました。

最初は英語づくしの環境に戸惑っていましたが、どんどん積極的に発言したり質問できるようにまりました。また、キルビントンの普段の授業にも参加させていただき、日本語や家庭科、演劇などの授業に、現地の生徒とグループワークをしながら交流しました。8月6日には「Peace Day」として、広島・平和に関するプレゼンテーションを行いました。生徒たちは、日本で準備した資料をみせながら、原爆や女学院での平和活動、東日本大震災について英語で説明をしました。現地の生徒たちはとても真剣に耳を傾けてくださいました。その後、ともに平和を祈りながら折鶴を折りました。この折鶴は、帰国後、平和記念公園の原爆の像へ捧げました。

ムステイなどを通じて異文化への理解を深めました。(国際教育委員会 演岡)



### 平和を祈る週

中高では、6月10日(月)〜15日(土)を「平和を祈る週」として過ごしました。この週の前後のホームルームでは、各学年の平和教育のカリキュラムに沿って、平和学習を行います。

まず、中1で女学院の被爆、中2で広島市の被爆を、中3で長崎の被爆について学びます。高1では日本の侵略と加害について学習と連動させて沖縄の地上戦と基地問題を学びます。そして、高3ではまとめのレポートとプレゼンテーション、という流れです。中学礼拝委員会と高校宗

教委員会主催の「昼の集い」や募金活動など、さまざまに催しを通して、平和について考えました。

最終日の特別礼拝には、「ヒロシマ」をテーマに作品を撮り続けておられる写真家の松倉ゆきえさんをお迎えして、平和への思いを語っていただきました。ドームの前に佇む人、特急も急行もない広電のやさしさ：私たちがいつも当たり前と思っている広島市の風景から平和の尊さを感じ取っておられる松倉さんのお話を伺って、心の底に平和が宿ったような思いがしました。

期間中、松倉さんの写真展も開催しました。アイリスセンターの通路に展示された写真と言葉に、生徒も教職員も思い思いに見入っていました。

(宗教教育委員会)

### 8/6 平和記念礼拝

8月6日の午後1時30分より、平和記念礼拝を行いました。今年、被爆者で学友の水野潔子(みずのきよこ)さんを、東京からお迎えしました。水野さん(旧姓平出さん)は、女学院専門部に入学さ

れましたが、7月まで牛田山の開墾作業。8月になってようやく上轍町校地での勉学が始まった矢先の8月6日でした。印具先生のお話による専門部の礼拝が終わり、後奏の時だったとい

います。当時としては最先端の造りであった校舎と礼拝堂が一瞬にして崩れ落ちて阿鼻叫喚。しばらく続いた「お母さん」「お父さん」を呼ぶ叫び声も、少しずつ小さくなっていったそうです。

礼拝堂の椅子の間について無事だった水野さんは、何とか外へ這い出ました。ご家族のうち、お母様が行方不明でしたが、枕崎台風によって洗い流された側溝の中から、ご遺体が見つかったそうです。弟さんがスコップでご遺体をすくって防火水槽に納め、後に玄関先で火葬されたとのこと。

水野さんは、東京の学校を卒業され、原爆症と闘いながらお仕事をされ、定年後は、原爆症認定裁判のボランティアをされるなど、なおご活躍中です。その水野さんを支える「二本の優しい手」は、平和憲法と「七転び八起き」の精神だということ

(宗教教育委員会)

### YWCA関西地区 中高カンファレンス 8/7(水)〜9(金)

学校同士ならではの交わりを深めることができました。(YWCA部顧問)

### 生徒の活躍

- 毎夏、関西地区の中高YWCA部が二泊三日で交流と学びあいをしますが、今年度は本校が当番校でした。「核のない未来を求めて―日本に生きる私たちにしかできないこと、しなげればならないこと」というテーマのもと、1日目は資料館見学や許宗文さん(在日2世、カトリック信者)の被爆体験、2日目は平和公園碑巡り、本校YWCA部員による日本の戦争加害問題についてのプレゼンテーション、アサー・ピナードさん(アメリカ人・詩人)の核をどの視点から見るとかを問うメッセージ(DVD)、本校平和活動の紹介など、加害・被害の両面をふまえ、原爆投下のは非と、核廃絶について討議し、3日目に各グループのまとめを発表しました。また、各校の学校紹介、「夏雲」朗読による女学院の被爆体験を伝える夕拝、核兵器をテーマにした映像と詩「now」を交えたキヤンドルライト・サーヴィス等、他県の中高生にヒロシマを伝えると共に、キリスト教
- ◇中学生放送部第30回中学放送コンテストNHK杯全国大会
- ◇テレビ番組部門優良賞
- ◇高校新体操部
- 第66回全国高等学校総合体育大会
- 団体 37位
- ◇マンドリン部
- 平成25年度全国高等学校ギター・マンドリンコンクール
- 優秀賞
- 文部科学大臣賞 第1位
- 大阪市長賞(3年連続優秀賞)
- 15年連続優秀表彰
- ◇その他
- ※第37回ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会
- 金賞 E級(高1以下の部)
- 松本 眞理絵(2・15)
- 入賞 E級(高1以下の部)
- 村上 円佳(3・2)
- ※全日本バレエコンクール選考会
- 中国支部2位(全日本バレエコンクール出場へ)
- 前谷 日向子(2・1D)

幼稚園

花の日礼拝

「先生、ひまわりかわいいでしょ」「お庭に咲いてたアジサイもってきたよ」花の日の朝、お花を大切そうに抱えて子ども達が登園してきました。

「きれいだね」「かわいいね」と花の美しさをみんなで味わい、神様の恵みに感謝の礼拝の時を持ちました。その後、いつもお世話になってる方々へ、ありがとうの気持ちを込めてお花を届けに行きました。

喜んでくださる方の笑顔でまた、嬉しい温かい気持ちになった素敵なお一日となりました。色とりどりの花のような子ども達がこれからも神様に愛されて健やかに育っていきますように。

(幼稚園 小原 由美子)



「一緒につくったよ!」

日曜参観

普段はお休みの日曜日ですが、この日はおうちの方と幼稚園で一緒に過ごす特別な日です。「ここをしっかりと押さえてね!」とお父さんに手伝ってもらいながら、ダンボールで大きな家を作りました。また、クラスでは親子対抗ゲームで大変盛り上がり、いつもとは違う幼稚園での時間を過ごしました。

(幼稚園 市川 真由)



「園長先生いつもありがとう!」



平和な世界になりますように

平和の祈り

絵本やお話を通して戦争の悲惨さや恐ろしさを知り、「平和」に関心をもち始めた年長の子ども達。「平和ってなんだろう?」と話し合い、「爆弾がなくなること」「戦争をしないこと」と言葉にしていくうち、身近なことが平和につながっていくことに気づき、「けんかしても仲直りすること」「みんなが優しくしあうこと」と、今自分たちができることを考えるようになりました。7月のお泊り会では、平和公園に行き、子ども達自身が折った

千羽鶴を捧げ、慰霊碑めぐりをしました。平和の灯の前では、地球上から核兵器がなくなる日までこの灯は燃やし続けられるということとを伝えると、子ども達から「なんで今すぐなくさないの?」「何で原爆を作るの?」「戦争はだめって言えばいいのに!」と次々と疑問がとびだしました。子どもの自分たちでもわかる簡単なことが大人になぜできないのかわかりません。真夏の太陽の下、様々なことを感じながら公園内をめぐり、平和への思いを強め、折るときを待ちました。

(幼稚園 有里 亜友美)



みんなで作った折り鶴をさげました

ファミリーデー

親子で楽しむこの日は沢山の保護者のお力によって遊び場や保育が豊かなものとなっています。6月は長い竹を割って節を削り、そいうめん流しができるようにして下さいました。また絵本クラブのお母さん達が絵本「ぐりとぐら」の読み聞かせと共に、ふっくら黄色いカステラを焼いてご馳走して下さい、子ども達は笑顔で溢れていました。

(幼稚園 久保木 裕子)



校勢概要 (2013.5.1現在)

職員数

(非常勤講師を含む)

Table with columns for 所属 (大学院, 大学, 中高), 種別 (教員, 職員), 性別 (男, 女), and 計 (各学部, 各学年, 合計).

2013年度学生・生徒・園児在籍数

( )内は内数で休学者数を表す

[ ]内は内数で進級留学生数を表す

Table showing enrollment numbers by school department (校部科) and year (学年), including counts for each year and totals.

財産目録

単位 円 ( )内は面積等(単位整数)

Table listing assets (一、基本財産) such as land, buildings, and equipment, with their respective values and areas.

2012年度財務三表

資金収支計算書

単位 円

Table showing the Statement of Financial Position (資金収支計算書) with columns for 科目 (科目) and 金額 (金額), including income and expenditure sections.

消費収支計算書

単位 円

Table showing the Statement of Expenses (消費収支計算書) with columns for 科目 (科目) and 金額 (金額), detailing consumption expenses.

貸借対照表

単位 円

Table showing the Balance Sheet (貸借対照表) with columns for 科目 (科目) and 金額 (金額), detailing assets and liabilities.

事務局

会議報告

5月定期評議員会

2013年5月17日(金) 14時よりヒノハラホールにおいて開催。2013年度評議員会議長に辻 学評議員を選出し議事に入った。丸茂裕樹評議員を父母関係評議員として選任、理事会へ推薦することとした。大学からの父母選出評議員については、大学協力会総会時に選出することが確認された。

諮問事項としては、2012年度事業報告・決算及び監査報告を了承し、理事会に答申することとした。これに関連して、理事会は大学の入学定員確保対策委員会を立ち上げ、対策について協議を進めていることを報告。同委員会の藤本黎時常任理事・委員長から、全学院的な課題として協力をお願いしたい旨の要請文を読み上げた。

また、2013年度第一次補正予算、人間・社会文化学科廃止に伴う寄付行為の変更についても審議し、これを承認した。不正行為にかかる処分に対し、被告発者から異議申立が出ていることを報告、コンプライアンスの遵守を求めたい等の意見が述べられた。

第121回理事会

2013年5月24日(金) 14時より頌栄館会議室において開催。第12回・13回の常任理事会報告の後、定期評議員会より推薦のあった丸茂裕樹氏を理事に選任した。

2012年度事業報告、2012年度決算報告及び監

査報告、2013年度第一次補正予算、寄付行為の変更について審議し、評議員会の諮問通りこれを承認した。その他、諸規程の改正、2014年度各学部入学検定料及び学生生徒等納付金、2014年度人事計画を了承した。

また、2014年3月31日に任期満了となる学長、校長の候補者選考委員会について理事6名、教員4名、事務職員1名の構成とすることを了解した。

理事長の求めに応じて相談・助言を行い、理事会の特別に協力・支援をするものとして、学校法人広島女学院顧問規程に基づき日野原重明氏を最高顧問に委嘱することを全会一致で同意した。

第122回理事会

2013年7月26日(金) 14時より頌栄館会議室において開催。第14回常任理事会報告の後、議事に入った。

2014年度予算作成に伴う人事計画案と人件費予算案について審議し、11月理事会までに精査・積算の上諮ることを承認した。

大学入学定員確保対策委員会の藤本常任理事・委員長より、第二次報告を9月末までにまとめる旨の報告があった。学長からは大学再生会議における検討状況及びアクションプランについて報告があった。

第1回臨時理事会

2013年9月10日(火) 16時より頌栄館会議室において開催。不正行為にかかる処分の事後処理について審議し、被処分者からの異議申立に対しては、理事会として毅然として対応していくことを全会一致で決定した。

日野原重明先生 終世最高顧問就任

日野原重明氏が本年5月24日付にて本学院の終世最高顧問に就任され、次のような謝辞をくださいましたのでご報告いたします。

謝辞

私こと日野原重明は、2013年5月24日付で、学校法人広島女学院の黒瀬真一郎理事長から、学校法人広島女学院の終世最高顧問に推戴されました。

私の父日野原善輔は、1930年(昭和5)年から12年間学院長を務めました。在職中、牛田山の山林4町6反6畝22歩(約1.7ha)を購入し、将来の広島女学院の発展を祈りながらも、原爆投下以前の1942(昭和17)年に停年退職いたしました。

その後、父を記念して1989年には父のレリーフが、そして1996年にはヒノハラホールが建てられました。黒瀬真一郎理事長が、父の業績を誰よりも早く認められ、父を記念する事業に取り組まれたのです。以上のような関係で、私の寿命の許す限り、広島女学院のために尽力することをここに誓い、謝辞といたします。

2013年7月10日 聖路加国際メディアカル センター理事長 日野原 重明



その後、父を記念して1989年には父のレリーフが、そして1996年にはヒノハラホールが建てられました。黒瀬真一郎理事長が、父の業績を誰よりも早く認められ、父を記念する事業に取り組まれたのです。以上のような関係で、私の寿命の許す限り、広島女学院のために尽力することをここに誓い、謝辞といたします。

広島女学院クリスマスコンサートのお知らせ

今年も例年通り12月23日(月) 17:30開演として、広島女学院クリスマス・コンサート「メサイア」を開催いたしますので、皆様、ご来場ください。

また、合唱で参加してくださる方を募集しています。ご連絡は、広島女学院大学玉理 英治 emari@hjac.jp 又は Fax 082-2224-6056 (総務課) まで。

IAMSCUの日程について

IAMSCU(メソジスト関係学校国際同盟)の国際大会が2014年5月24日(土)から5月28日(水)の日程で広島市において開催されます。IAMSCUには世界60か国、775校が加盟しており、前回は2011年7月に米国ワシントンDCにおいて開催されています。5月25日(日) 16時30分よりゲインズホールにおいて、開会集会と講演会が行われる予定です。講演会の講師はまだ公表されていませんが、次回学院報でご紹介できる予定です。その他にも、5月26日(月)は広島流川教会において9時から開会礼拝、午後からは広島国際会議場「ヒマワリ」で本会議等が予定されています。

広瀬ハマコ 記念基金のご案内

広瀬ハマコ先生は、校母ナニ・B・ゲインズ先生から直接に薫陶を受けられました。その期待に応えられ、園長・学長、院長、理事長として36年間にわたり本学院発展のために尽瘁されました。

1988年にご召天。その年、資財は全額先生ご遺言により本学院に寄付され「広瀬ハマコ記念奨学基金」の制度がうまれました。基金の運用益をもって次の事業を行うと定めています。一、本学院の教壇に卒業生の人材を確保するための奨学金を支給する。二、留学を希望する内外学生、生徒の学費を援助し国際化を促進する。

応募については次の通りです。みなさま奮ってご応募ください。

○応募条件・本学(高校、大学)卒業生で、国内外の大学院在学者

○選考・本人申請により3月・9月に行います。詳細お問い合わせは、法人事務局総務課まで ☎0821222810386 (院長 黒瀬真一郎)

ゲインズチャペルで、コンサートを開催いたします。どうぞお越しください。ソプラノとオルガンの調べ

Concert program listing including 'アンナ・マグダレーナ' and 'セルセ' by composers like Bach and Handel, with performers like 玉理 照子 and 惠美 乗松.

Photograph of a woman in a white dress, likely related to the concert or a testimonial.



2013年度(保護者会)役員

大学協力会

(敬称略・順不同)

- 会長 寺沢 隆子
副会長 石田 勇治
理事 徳九 千夏
向井 英佳
森長 京子
奥田 満子
三浦 芳助
松浦 正博
澤村 雅史
三木 幹子
宮原 智子
梶山 照子

中高PTA

- 会長 香川 浩史
副会長 佐衛田剛賜
山下 竜正
福戸山正明
榎 幸代
青木より子
濱田 英樹
柏木 宏之

幼稚園母の会

- 会長 大山ちはる
副会長 河原 恵美
書記 岸野美佐子
小川 美枝
千野 素子
鶴 順子
山田 絃子
遠藤 美香
藤田恵美子
山瀬みゆき
池田久美子
大石佳代子

クラス委員

- 上田 佳代
数田 宏美
奥芝 仁美
守永 真琴
岸本 尚子
平川 紗織
迫 貴子
川本 陽子

教職員動静

8月31日受付分まで

召天

陣崎 克博様
(元大学特任教授)
2013・2・8

綿田 督様
(綿田勝中高教諭(ご尊父))
2013・6・25

結婚
久保田 哲司
(大学事務局庶務課事務職員)
2013・7・9

誕生
陸君
(皆本陽子中高教諭(子息))
2013・5・12

桃子ちゃん
(今田英樹中高教諭(長女))
2013・7・6

人事

選任
理事 丸茂 裕樹
(2013・5・24(2016・5・23))

評議員 寺沢 隆子
(2013・5・17(2014・3・31))

就任
法人最高顧問 日野原重明
(2013・4・1付)

歴史資料館長 佐藤 茂樹
(2013・6・1(2015・5・31))

大学特別顧問 大竹 美喜
(2013・4・1(2014・3・31))

大学客員研究員
Humayun Kabir
(2013・5・1(2014・3・31))

配置転換

(2013・6・1付)

藤岡千津子
(大学共通教育センター教

学課兼教務課主任(大学人

間生活学部・生活科学部事

務室主任)

下高呂千春
(大学事務局庶務課(法人

事務局総務課

應本真由美
(大学図書館図書課(大学

共通教育センター)教務課兼

教務課

2012年度各種基金等事業報告

教育振興基金
10月1日全学院研修会費用

264,947円

寄付

8月31日受付分まで

中高教育充実のため

20,000円

松重正清様 岡崎博美様

塚本有香様 加藤弘輝様

野中理恵様 寺脇幹雄様

森脇正樹様 川口早香美様

18,000円

長谷部光子先生を偲ぶ会

(高校24回卒業生)様

広島女学院発展の為に

茂里一絃様

70,000円

再開50周年お祝い

(社)キリスト教保育連盟様

100,000円

大学国際展開の為に

(株)ワールド・アルマイト

代表取締役 中西頭郎様

1,000,000円

ゲインズ奨学金として

広島女学院同窓会様

600,000円

広島女学院の平和のために

神子澤新八郎様

300,000円

観桜会

上職町東町内会様

100,000円

5,000円

上職町中町内会様

土井ミカヨ様

眞倉和子様 金信美幸様

増原宗司様

3,000円

長机借用のお礼

広島キリスト集会様

10,000円

アイリスセンター維持費

(4~3月)

広島女学院同窓会様

600,000円

感謝

豊中教会 小林英子様

大阪のぞみ教会 関本悦子様

5,000円

一般

今石牧子様

10,000円

お花料

匿名希望様

20,000円

(公財)武田科学振興財団(否

雨書屋研究奨励)間接経費

田中圭子様

100,000円

現物寄附

佐藤恒雄他4名様

書籍(179,442円相

当)

山下京子様

ポータブルメディアプレー

ヤー(39,900円相当)

木本浩一様

モバイルプロジェクト

(33,800円相当)

田中沙織様

デジタルカメラ一式、ノ

トパソコン

(169,800円相当)

生活科学部管理栄養学科

2010・2011・2012年度卒業生一同様

ソフィア館1号館3階調理

室鏡5枚(91,875円

相当)

伊藤榮子様

移動台下戸棚教卓用、

(二段付)、移動台収納カ

ト大理石用、天板(既設

殺菌庫用)2

(290,850円相当)

木本浩一様

GPS(28,000円相

当)

訂正

第169号学院報(2013年4月20

日発行)P・8の4段32行

目、「天谷 理沙様」となっ

ておりますが、正しくは、

「天谷 理彩様」でした。

お詫びするとともに、訂正

いたします。

日誌抄

4・1(月) 新任式・オリエ

ンテーション

4・5(金) 大学院・大学入

学式

4・6(土) 中学校入学礼拝

高等学校入学礼

拝

4・10(水) 幼稚園入園礼拝

4・11(木) 公認会計士監査

4・11(木) 事務協議会

4・18(木) 学院運営協議会

4・25(木) 公認会計士監査

4・26(金) 常任理事会

5・9(木) 事務協議会

5・15(水) 常任理事会

5・15(水) 学院監事監査

5・16(木) 公認会計士監査

学院運営協議会

5・17(金) 定期評議員会

5・24(金) 理事会

5・29(水) 牛田山荘管理運

営委員会

6・13(木) 事務協議会

6・20(木) 学院運営協議会

6・22(土) 予算委員会

6・28(金) 維持会総会

6・28(金) 常任理事会

7・11(木) 事務協議会

7・18(木) 予算委員会

学院運営協議会

広島女学院人権

問題委員会

7・26(金) 理事会

8・6(火) 被爆68年平和祈

念式

9・10(火) 常任理事会

9・13(金) 公認会計士監査

9・19(木) 事務協議会

9・26(木) 学院運営協議会

9・27(金) 理事会

10・1(火) 創立記念日

編集後記

入学礼拝までもつてくれ

と散り急ぐ桜に気をもんで

から、あれよあれよという

間に風に秋を感じる季節に

なりました。あわただしい

日々を振り返ると、毎日の

礼拝はもちろん、平和を祈

る週をはじめ、すべての学

校行事が祈りによって守ら

れています。2学期には文

化祭、キリスト教強調週間

等、やはり祈りを持って歩

んでいきたいと思っていま

す。(中高 綿田 勝)

# 広島女学院同窓会会報

## 2013年度 全国代表者会議報告

2013年度全国代表者会議が4月19日(金)午前11時45分から高校会議室で開催された。礼拝の後、永眠者への黙祷。大矢同窓会長の開催挨拶に続き、出席者の自己紹介。出席者はプロック長、支部長、地区長、本部幹事、事務局の37名。議事は、書記が2012年度の事業報告を、会計が2012年度の会計報告を行い、2013年度の事業計画を書記が、2013年度の予算を会計が提案し、それぞれ承認された。

東日本大震災の支援は、引き続き行うことに決定。今年度の年間聖句は「神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう逃れる道をも

備えていてくださいます。」(コリントの信徒への手紙 I・10章13節(改))

6月8日(土)の「学年幹事の集い」で89名の出席者と共に、今年度は讚美礼拝を行いました。小田部三恵子先生の心のこもったメッセージ「聖書と讚美歌―イエスキリストの福音」を頂き、その後、同窓会からの報告・協力依頼・次年度ホームカミングデー実行委員の紹介があり、終了しました。

(学年幹事・名簿委員会 松永 道子)

## 学年幹事の集い



## 平和祈念式報告

被爆68年は例年通り約250名の参加で行われた。(内100余名)



平和祈念式は例年通り約250名の参加で行われた。(内100余名)

## 小さな祈りの影絵展

同窓生 部谷京子さんの呼びかけで始まった「小さな祈りの影絵展」に今回も同窓会の作品を出品しました。この影絵展は、毎年8月5、6日に元安橋東詰め(平和公園入口)で野外展示されています。



## ゲインズ奨学金授与式

6月26日大学において同窓会より大学生4名に、ゲインズ奨学金が授与されました。

## 同窓会バザーのお知らせ

日時 11月3日(日) 午前10時〜午後1時  
場所 同窓会館(カフェ・アイリス)とゲインズホール前テント(バザー)  
バザーのための献品を常時受け付けております。  
問い合わせ先・同窓会本部  
TEL/FAX (082) 221-1059



## 震災、その後の報告

福島の今 朝霧の向うに広がる海は、穏やかです。地震の大きな揺れの後、津波が牙をむいて人々の生活をのみ込んでいったことが嘘のような静けさです。東日本大震災から二年半が経ちました。私の住んでいるいわき市では、がれきの処理、倒壊した家屋や道路の修理も進み、震災からの復興は確実に進んでいます。

しかし、一方で、福島県は、福島第一原発事故の問題が復興の大きな妨げになっています。原発に隣接する地域で生活していた多くの人が自宅に戻れない状況は今も続いています。県内外に多くの人が避難し、慣れない土地や仮設住宅で不自由な生活に耐えています。原発事故の収束の見通しは未だたつていません。進まない除染、増え

続ける汚染水、原発付近では高い濃度の放射線量が計測されています。私たちは日々の線量を確認しながら生活をしています。皆の望みは、元の生活に戻ること、に尽きることです。原発事故前にあった故郷や仕事はその人の人生そのものなので、海に生きる人は漁に出る、農家の人は作物を育てる、家畜を飼う。どれも当り前のことで決してぜいたくな望みではないのです。目に見えない放射能による健康への不安は、この先も続きます。子供たちは被爆量を計り、甲状腺の検査を継続して受けなくてはなりません。小学生の少年の作文の中の、「ぼくたちは大人になれますか?」という言葉に胸がつかれる思いがします。子供たちが何の不安もなく、のびのびと学び、遊び、健やかに育つことを祈らずにはられません。

(福島支部 根本尚恵)

## 2012年度 収支決算書

2012年4月1日から2013年3月31日まで  
広島女学院同窓会 2013年3月31日作成 (単位:円)

収入の部		
科目	2012年度予算	決算(2013.3.31)
同窓会費	4,632,800	4,638,075
大学 5,400円×423-525円	2,300,000	2,283,675
高校 10,800円×216	2,332,800	2,332,800
会友	0	21,600
事業収入	1,200,000	1,650,297
グッズ販売	800,000	1,263,054
バザー	400,000	387,243
雑収入	30,000	33,513
受取利息	0	1,427
寄付金	0	593,406
弁済金	924,000	492,256
前年度より繰越金	11,134,201	11,134,201
合計	17,921,001	18,543,175

支出の部		
科目	2012年度予算	決算(2013.3.31)
事務費	2,180,000	1,453,047
消耗品費	150,000	120,059
備品費	1,000,000	302,988
人件費	1,030,000	1,030,000
事業費	2,815,000	2,743,000
全国代表者会議費	700,000	629,526
宗教委員会費	110,000	105,901
事業委員会費	1,250,000	1,298,661
バザー委員会費	65,000	52,925
同窓会報編集委員会	380,000	363,300
学年幹事・名簿委員会	210,000	192,684
ホームカミングデー補助費	100,000	100,000
母校支援費	1,700,000	1,636,000
アイリスセンター維持費	600,000	600,000
ゲインズ奨学金	600,000	600,000
卒業証書カバー補助	500,000	436,000
通信費	190,000	152,000
電話料	120,000	92,570
郵税	70,000	59,430
旅費	350,000	274,300
同窓会館運営費	160,000	150,803
水道・光熱費	140,000	133,957
消耗品費	20,000	16,846
慶弔費	200,000	65,250
雑費	200,000	196,906
予備費	200,000	30,000
基本金引当資産へ繰入	0	0
(小計)	7,995,000	6,701,306
次年度へ繰越	9,926,001	11,841,869
合計	17,921,001	18,543,175

支部会・地区会だより

賀茂地区会

4月4日 参加者14人

柳水郎

酒蔵にそった静かなたたずまいの残る西条で、楽しくも有意義な一時を過ごさせて頂きました。とりわけ80才以上の方が御自身の人生を語って下さいました。御苦労の多い家庭に嫁がれ頑張っ



て来られたその精神は、女学院の学風そのものだと思えました。今年も秋に一度親睦会をして同窓の絆をより一層強めて行きたいと思えます。

(檀上幸子 大英11回)

佐賀支部

6月1日 参加者13名

きぶん

和食を食べながら大矢会長より同窓

会の報告や、グッズの販売があり、各々近況報告をされました。佐賀大医学部名誉教授木本雅夫先生から「アレレギーの話」の講演をして頂きました。身近な話題で有意義な会になりました。



(諸隈啓子 高16回)

関西ブロック合同同窓会

6月22日 参加者57名

奈良ホテル

奈良担当の同窓会は少し贅沢なフランス料理を楽しんだ

2013年度ホームカミングデー報告

今年のホームカミングデーは4月20日、リーガロイヤルホテル広島で開催され約三百名の参加をえて盛大に華やかな会となりました。ご来賓の先生、懐かしい恩師、国内外から里帰りの卒業生が笑顔で旧交を温めるシーンの数々は今もあざやかに思い出されます。テーマは「深め合う絆 未来へ」。パンフレットの表



紙には年代を超えた女性が手をつなぎ「女学院スピリット」を手渡していく姿を象徴的に表しました。礼拝では澤村先生から「すべてを完成させる絆」のメッセージを頂きました。ステージではグリーン幼稚園の年長組さん、同窓生の元気なよい歌や、同窓生でソプラノ歌手、羽山弘子

さんの素敵なオペラのアリアなど、うっとり聞き入りました。お食事は料理長のパフォーマンスに盛り上がり、アンチエイジング効果抜群の美味しいランチを楽しみました。同窓生の皆様、また元気でお待ちしております。御協力いただいた方々に心より感謝とお礼を申し上げます。(ホームカミング実行委員長 佐々木知子)

後、東大寺南大門の仁王像大修理に纏わる講演(奈良国立博物館名誉館員・鈴木喜博氏)で文化財に思いを馳せました。梅雨の晴れ間に恵まれた一日でした。



(山口裕子 高15回)

関東ブロック

原爆死没者追悼礼拝

「夏雲の集い」

7月6日

日に関東ブロック主催の原爆死没者追悼礼拝「夏雲の集い」を



召天

清水ヒサエ(垣内)

品川順子(河野)

鶴本康子(森川)

横田信子(横田)

黒須由美子(勢川)

佐神フミエ(前田)

鈴木睦子(中津井)

山下岑子

石村しずこ(秋山)

長沢治子(秋本)

岡田昌子(岡野内)

松村純子

門丸明美

原田美智子(堀江)

金沢三恵(金沢)

内田ウタ(堤)

新藤ルツ子(富士盛)

枝松比呂美(尾西)

山根万里子(築地)

大橋睦子(武林)

岡部孝江(段原)

山田雪子(山本)

山岡キミ子(富樫)

足達富士子(児玉)

前田節子(児玉)

三戸政子(三戸)

桑田登茂枝

鈴木廣子

遠山うた枝(加藤)

中尾容子

久保迪子(辻岡)

高本一恵(杜本)

林嘉子(河内山)

門廣徳子(品川)

小山巧子(高宮)

間馬洋子(西原)

武田房子(横竹)

宮川直子(牛島)

渡辺一枝(大島)

恵美秀子(坂井)

中野昭枝(武田)

福田美和子(川野)

磯崎起久子(平塚)

松本ミエ(神名)

管 葉子

中屋敷佐久子(貫田)

滝鍵由利子(野村)

佐々木ミツヨ(正岡)

平田淳子(毛利)

高原浩子(綿重)

木村妙子(神岡)

真嶋富美子(山崎)

川島ミチ子(富田)

荒瀬歌子(光森)

松尾ミチエ(京極)

阿部紀代子(田村)

本田八重子(堀田)

金尾貞子(松岡)

横尾清子(松岡)

中川節(松井)

中村育子(播本)

吉東三千子

巻幡恵美子(巻幡)

土肥郁子(住田)

津野房子

宮田幸子(天野)

丸山貞世(上垣内)

木村伸子(金久)

野村公子(矢部)

中本五月(柏谷)

永井愛子(阪本)

盛谷聖子(神田)

下山道子(新井)

中島菘(和田)

中野正子(木村)

千崎幸子(日高)

原信子(有本)

高女46

高女45

高女52

高女44

大英4

高女46

短17

高女48

高女48

短12

短12

高女49

高女47

高女31

高女51

高女40

高女12

高女45

専庭6

高女47

高女33

高女12

高女55

専英6

短21

高女51

専英14

高女45

短7

短6

高女42

高女16

高女14

高女5

高女51

高女46

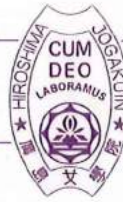
高女51

高女18

高女8



# 2014年度 学生生徒



# 園児募集要項



**大 学** (〒732-0063) 広島市東区牛田東四丁目13-1  
 電話 082-228-0386(代) FAX 082-228-7815

募集人員 国際教養学部 国際教養学科 240名  
 人間生活学部 { 生活デザイン・建築学科 70名  
 管理栄養学科 70名  
 幼児教育心理学科 90名

**中 学 校** (〒730-0014) 広島市中区上幟町11-32  
 電話 082-228-4131 FAX 082-227-5376

### 入試試験概要

日程区分	対象学科	出願期間	試験日	合格発表日	会場	
※指定校推薦入試	全学部全学科	2013年10月28日(月)～11月11日(月)	2013年11月16日(日)	2013年11月21日(木)	本学	
公募推薦入試 A-B方式(専願) C方式(併願) 特芸方式(専願)	国際教養学科	第1回 2013年10月28日(月)～11月11日(月) ★11月12日(火)	第1回 2013年11月17日(日)	第1回 2013年11月21日(木)	第1回 本学・福山・山口・松江・松山 第2回 本学	
	生活デザイン・建築学科 管理栄養学科 (第1回A-B方式のみ実施) 幼児教育心理学科 (特芸方式は第1回のみ実施)	第2回 2013年11月28日(月)～12月9日(月) ★12月10日(火)	第2回 2013年12月14日(日)	第2回 2013年12月19日(木)		
特待生入試	全学部全学科	2014年1月6日(月)～1月22日(木) ★1月23日(金)	2014年1月30日(木)	2014年2月11日(火)	本学・福山・山口・岡山・松江・松山・福岡	
一般入試 (前期日程)	全学部全学科	2014年1月6日(月)～1月22日(木) ★1月23日(金)	A日程 2014年1月30日(木)	2014年2月11日(火)	A日程 本学・福山・山口・岡山・松江・松山・福岡 B日程 本学・福山・山口 C日程 本学	
			B日程 2014年1月31日(金)			
			C日程 2014年2月1日(土)			
一般入試 (後期日程)	全学部全学科	2014年2月17日(月)～2月28日(金) ★3月1日(土)	2014年3月6日(木)	2014年3月11日(火)	本学	
			2014年1月18日(土)～19日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)			2014年2月11日(火)
			2014年1月18日(土)～19日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)			
大学入試 センター試験 利用入試 (A日程)	全学部全学科	2014年1月17日(日)～2月28日(金) ★3月1日(土)	2014年1月18日(土)～19日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)	2014年3月11日(火)	—	
			2014年1月17日(日)～2月28日(金) ★3月1日(土)			2014年3月11日(火)
			2014年3月17日(月)～3月22日(土) ★3月24日(月)12:00まで			
公募推薦入試 A-B方式(専願) C方式(併願)	全学部全学科	第1回 2013年10月28日(月)～11月11日(月) ★11月12日(火) 第2回 2013年11月28日(月)～12月9日(月) ★12月10日(火)	第1回 2013年11月17日(日)	第1回 2013年11月21日(木) 第2回 2013年12月19日(木)	本学	
			第2回 2013年12月14日(日)			
			2014年1月17日(日)～1月22日(木) ★1月23日(金)			2014年2月11日(火)
一般入試 前期日程	全学部全学科	2014年1月17日(日)～1月22日(木) ★1月23日(金)	A日程 2014年1月30日(木)	2014年2月11日(火)	本学	
			B日程 2014年1月31日(金)			
			C日程 2014年2月1日(土)			
一般入試 後期日程	国際教養学科 (GSEメジャー希望者)	2014年2月17日(月)～2月28日(金) ★3月1日(土)	2014年3月6日(木)	2014年3月11日(火)	本学	
			2014年1月18日(土)～19日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)			2014年2月11日(火)
			2014年1月18日(土)～19日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)			
大学入試 センター試験 利用入試 (A日程)	全学部全学科	2014年1月17日(日)～2月28日(金) ★3月1日(土)	2014年1月18日(土)～19日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)	2014年3月11日(火)	—	
			2014年1月17日(日)～2月28日(金) ★3月1日(土)			2014年3月11日(火)
			2014年3月17日(月)～3月22日(土) ★3月24日(月)12:00まで			
大学入試 センター試験 利用入試 (B日程)	全学部全学科	2014年1月17日(日)～2月28日(金) ★3月1日(土)	2014年1月18日(土)～19日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)	2014年3月11日(火)	—	
			2014年1月17日(日)～2月28日(金) ★3月1日(土)			2014年3月11日(火)
			2014年3月17日(月)～3月22日(土) ★3月24日(月)12:00まで			
大学入試 センター試験 利用入試 (C日程)	全学部全学科	2014年1月17日(日)～2月28日(金) ★3月1日(土)	2014年1月18日(土)～19日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)	2014年3月11日(火)	—	
			2014年1月17日(日)～2月28日(金) ★3月1日(土)			2014年3月11日(火)
			2014年3月17日(月)～3月22日(土) ★3月24日(月)12:00まで			

★窓口受付指定日:9:00～16:30入試課窓口にて受け付けます。(ただし、大学入試センター利用入試C日程のみ、窓口受付指定日(3月24日)は9:00～12:00まで。)

### 願書請求(送料共無料)

- ※推薦入試(指定校制)の要項は、直接、指定する高校へ届けます。
- ・在学されている高等学校へお問い合わせください。
- ・社会人、帰国生徒、外国人留学生特別入試および転入試・編入試に関する詳細は、入試課までお問い合わせください。
- ・オープンセミナー入試は終了しました。

**大 学 院** 言語文化研究科(博士前・後期課程)  
 人間生活学研究科(修士課程)

募集人員(男女共学)(春季分)

研究科	専攻	博士前期、修士課程	博士後期課程
言語文化	日本語文化	6名(秋季を含む)	3名
	英米言語文化	6名(秋季を含む)	3名
人間生活学	生活文化学	6名(秋季を含む)	
	生活科学	6名(秋季を含む)	

出願期日 2014年2月21日(金)～2月28日(金)郵送必着  
 試験期日 2014年3月7日(金)  
 合格発表 2014年3月11日(火)

願書請求先 広島女学院大学 入試課 電話:082-228-8365(直)  
 URL: http://www.hju.ac.jp/ E-mail: nyushi@gaines.hju.ac.jp



キリスト教精神に基づいた教育を目指して

募集人員 220名(5学級)  
 応募資格 2014年3月小学校卒業見込みの女子  
 出願時、広島県および山口県東部在住の者。これ以外の地域から出願される場合は、他の手続あり。詳細は「2014年度学生生徒募集要項」を参照のこと。  
 出願期間 2014年1月4日(土)より1月8日(水)  
 出願方法 必要書類を出願期間中に広島女学院中学校あてに書留で郵送のこと。(当日消印有効)  
 試験期日 2014年1月25日(土)  
 選考の方法 (1)提出書類の審査 (2)学科試験  
 合格発表 2014年1月26日(日)  
 願書請求 本校受付で配布。郵送希望の場合、事務室にご請求ください。

**ゲーンズ幼稚園** (〒732-0063) 広島市東区牛田東四丁目13-1  
 電話 082-228-6635 FAX 082-224-3141

募集人員 3歳児 60名 4歳児 10名  
 願書受付 2013年10月1日(火)  
 入園面接 2013年10月9日(水)  
 入園手続 2013年10月11日(金)

